

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2570100459		
法人名	有限会社 かねだ		
事業所名	南郷グループホームほたる		
所在地	滋賀県大津市南郷		
自己評価作成日	平成24年9月16日	評価結果市町村受理日	平成24年12月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住み慣れた地域での生活の継続を支援しています。利用者本位の生活を優先して安心して生活できるよう馴染みの関係を築いています。また、一人、一人の生活スタイルを重視した生活を送れるように配慮しています

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

南郷グループホームほたるは母体金田医院の敷地内にあり、徒歩圏内にスーパーマーケットや公園があり生活しやすい場所にある。併設のデイサービスを利用していた方もあり、地域に根付いたグループホームである。金田医院と医療連携体制をとって、医師が毎日ホームを訪れ、利用者との顔なじみの関係を作っている。同じ敷地内に医院があることは、利用者本人、家族らに職員の安心につながっている。本人や家族の希望がある場合、グループホームでの看取りを行なっている。グループホームで看取りを経験された家族が、再び介護する家族ができた場合に再度利用を希望されることもある。利用者一人ひとりのきめ細かな記録を基に本人本位の対応をし、その人らしい普通の日常生活が送れるように支援している。地域防災会に参加するなど、地域との連携も積極的に取り組んでいる。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人滋賀県社会福祉士会		
所在地	滋賀県野洲市富波乙681-55		
訪問調査日	平成24年10月3日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に提示して目に付くようになっていいる。職員間で確認しあって実践につなげている。	「楽しくゆったりと自分らしくありのままに…共に生き暮らしの中に喜びと自信を…」という理念を職員は毎朝確認し理解・共有している。その実現のため笑顔で接しながら、目配り気配りを怠らない対応を日々心掛けている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントや夏祭りに参加している。	運営推進会議の元委員の自治会長の勤めがあり、昨年初めて地域の文化祭に利用者の作品を展示し、地域のひととの交流を楽しんだ。毎日買い物に行くので近くのスーパーの店員や近隣の方と顔なじみになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で高齢者の対応の仕方や症状は議論している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日常生活の様子や支援の内容を説明している。その会議で意見をだしてもらって活かしている。	日々の状況の報告や外部評価の結果の報告をし、ホームを見学してもらって実際の状況を見てもらっている。委員が地域の事を話してくれるので地域の事もよくわかり、地域への窓口として情報交換がよくできている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	認定結果や入居、退所に関するアドバイスを受けている。	利用者家族との関係でのことや困難ケースがあった時、料金の未収者が出た時など、日頃から機会あるごとに相談して、グループホームの状況を知ってもらい、積極的に関係づくりを行なっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部での研修を職員間で共有し勉強している。居室内のセンサー使用についても、家族、本人に同意していただいでから使用している。	身体拘束ゼロの外部研修を職員が受講している。研修に参加した職員によって、ミーティングで報告され、全員で周知するように努めている。室内の立ち上がりセンサーや車椅子の使用などについては、家族や本人と話し合い同意を得て使用している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部での研修を職員間で共有し、勉強している。職員間でも日頃から注意し合っている。		

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部での研修を職員間で共有し勉強している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	申し込み時、しっかり話しを傾聴し本人家族が安心納得して入居していただけるように話合っている。	
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に、意見箱の設置、苦情相談のチラシを設置しサービス向上に役立てている。	意見箱が設置されている。また、意見要望が直接、職員や管理者に気軽に言える雰囲気作りも心がけている。直接意見要望を聞く場合も多く、出た意見要望は、ミーティングで検討し運営に反映している。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者が日頃職員の様子要望を把握し、意見はミーティング時に討論している。	職員が気軽に管理者に意見が言える状況ではあるが、定期的に個別面談を行い、職員から意見要望を聴くようにしている。職員の見解は必要に応じて全体ミーティングで検討し、改善に結びつけている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は個々の勤務状況を把握し、評価して給与に反映している。また職場環境の整備に常に気をつけている。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員一人一人の力量を把握し、外部研修を職員が受ける機会を設けている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流会、研修等で同業者と交流し、情報交換している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居までに何度か面談を行っている。本人の思いをゆっくり傾聴しできるだけ時間を取って信頼関係を築けるよう努力している。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談申込時より家族の思いをゆっくり傾聴し相談、見学など話し合う機会を設けている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何度も話し合い、今困っていること求めている支援を見極めている。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事全般、また園芸や日曜大工等先輩としてアドバイスしてもらっている。昔の歌や家事の裏技を教わっている。			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に1度、最近の様子を書いた手紙と活動時の写真を送って近況を知らせている。また、面会時に職員も中に入って談話し共に支える関係を築く努力をしている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人との手紙のやりとりの支援をしている。また、地元のスーパーや近隣の散歩と一緒に出かけている。	近隣に住んでいた利用者は併設のデイサービスに友人に会いに行ったり、友人がこちらへ来たりすることもある。歩いて行ける場所にあるスーパーに毎日買物に行く時や散歩の時などに近隣の方と話をすることもある。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立防止の為、常に職員が目配りし、入居者同士の中に入り込み、コミュニケーションをとるようにしている。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了時も、ご本人やご家族が孤立されないよう、他施設の入所の援助やその後の生活の相談している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の立場にたち、発言などから不満、希望や思いを聞き出す事により良い支援につなげている。また、センター方式C-1-2シートを活用し、本人の思いを共有できる様にしている。	センター方式のシートを活用することで、本人の思いや希望をより具体的にわかりやすく把握できるようになり、職員全員が共有しやすくなった。小さな事でも気づいたことは個別の記録に残し、介護計画に反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人のアセスメントファイルを作成し、個々の歴史たサービス利用に至った経歴を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日ケース記録に細かく記録し、一人、一人の能力に合った家事やレクンをして頂く。又、定期的に見直し把握するようにしている。体調の変わりやすい方は毎日支援経過を個別に記録している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者本人の思いや希望、又、ご家族のご意思や希望を聞き、その上でミーティングで意思交換し、本人主体で作成している。	個人別に毎月目標をたてて、ユニットミーティングでモニタリングをする。モニタリングの結果と毎日の個別記録とあわせて、3ヶ月に一回、介護計画を見直し、常に本人本位の介護をする体制ができている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活記録があり、日々の様子や新たな発見を具体的に記録している。課題や変化が生じた時に詳しく記録し、解決方法を意見交換するとともに次の介護計画に役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の要望により、デイサービスでの電気治療やマッサージを受けて頂いたり、リハビリも行っている。又、イベント等は事業所全体で参加し楽しみ、友人を訪ねてデイサービスに行くこともある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防や警察とも連携をとって支援している。又、地元の中学生の体験学習やヘルパー実習生の受け入れはとても喜ばれ一緒に外出も楽しんでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	敷地内の医院と医療連携体制を取っている。又、入居者さんの健康面での心配時や変化が見られる場合、本人、ご家族との相談のうえ専門医を受診していただき情報交換している。	運営母体である金田医院と医療連携体制をとっている。院長が毎日巡回して利用者の見守りをすると共に、看護師が週1回訪問している。同敷地内に医院があるということが、本人、家族、職員の安心につながっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制を取っている為、入居者さんの体調や精神状態を週1回看護師に些細なことも報告、相談ができ日常の健康管理は徹底している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	他の病院を受診したり入院したりするときはご家族を交えて情報を共有したり細かく病院関係者に伝えている。又、入院先の担当医から当施設の担当医師に情報が入るなど連携に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	これから先の変化に備えて、ご本人、ご家族の願い希望を聴き、その上ホームで可能、不可能を見極め支援している。又、医師やご家族と話し合い変化に備えて検討や準備をしている。	ターミナルケアについては積極的にかかわる姿勢をもっており、本人や家族の思いや希望を何度も確認しながら、医師の意見やホームの状況を考慮に入れ、検討・実施している。今まで経験したターミナルケアの詳しい記録が個別ファイルにされて蓄積されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ミーティング時に緊急時の対応の訓練教育している。又そのマニュアルを常時見える所に提示している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防署に避難方法の指導を受けていてミーティング時にも確認している。災害時の対応時マニュアルを常時見える所に掲示している。	消防署の指導のもと、避難訓練を実施している。地域の介護施設5箇所と自治会、消防署などと地域防災会を結成し、災害時のネットワークづくりをしている。災害時に備えて、食料品、飲料水、排泄用品等を備蓄している。	災害時、安全を確保すると共に、家族に状況を伝えることが必要になる。職員全員が対応できるように家族への連絡網を作成し、見やすいところに掲示しておく事も大切である。

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は常に入居者さん一人一人の人格を尊重し誇りやプライバシーに配慮した言葉掛けや対応をしている。個人情報についても緊張感を持ち管理している。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを大切に、目配り気配りが行き届いた言葉かけ、対応がされている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は入居者さんが話しかけやすく雰囲気を感じ掛けている。また、利用者の思い常に耳を傾け、安心、納得されるまで話を聞き対応している。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本や作業療法<貼り絵、刺し子、パズル等>を提供しているが、本人の希望やペースを大切に、外出やレクリエーション、音楽ビデオ、体操等やりたいことを支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援している。外出時は特におしゃれをして頂けるよう一緒に洋服を選んだりして支援している。	
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事一連の作業を入居者さんと共に職員が行い片付けも、一緒に行っている。また特に食事の下ごしらえやおやつ作りは楽しみながら一緒に行っている。	献立は職員が決め、好き嫌いは別メニューにしている。ユニットごとに2品目ずつ別メニューをそれぞれ利用者と職員が一緒になって作り、持ちよって食べている。できる限り自分で食事できるように、声かけや介助をしていた。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量の記録をしている、個別に合った食事量、水分量をチェックしている。水分は一日1300cc以上を目安にしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝、昼夕食後に必ず口腔ケアを支援している。義歯の方には個別に義歯洗浄を支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄記録をつけパターンを把握している。リハビリ使用の方もいるがほぼ全ての方がトイレで排泄している。	排泄記録をつけて、一人ひとりの排泄パターンをしっかりと把握している。誘導が必要な方もあり、リハビリパンツやパットを使用しているが、全員がトイレで排泄している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の野菜を多く採ってもらうよう心かけ、体操や散歩など個人に合った運動を支援している。便秘薬使用しておられる方も見られる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の曜日や時間は一応予定として決めているが、ご本人の希望を優先し、入浴を楽しんでもらえるよう支援している。	利用者全員の希望で、併設のデイサービスの広い風呂をデイサービスが始まる前に利用している。異なったユニットの利用者と一緒に入浴するのを楽しみにしている方もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の要望に合わせて昼寝や休息ができるように支援している馴染みの寝具や揺り椅子を持って来られているので安心して休んでおられる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は入居者さんの服薬状況を把握している。医師の指導のもと服薬できるよう支援している。また、服薬による副作用や変化ができた場合はすぐに医師に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	アセスメントシートを活用し、その方の生きてきた時代背景や状況を知り、個性を尊重した対応している。裁縫や園芸、習字、おやつ作りなど職員も一緒に楽しんで支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	徒歩圏内にスーパーや公園があり、外出が容易でもあるので、ホームの中だけにとどまらない生活環境を支援している。	毎日、歩ける方は徒歩で車椅子の方は車椅子で、近くのスーパーに買物に出かける。屋内だけで過ごさず、太陽の光を浴びて、外の空気を吸うということが大切だと考えているので、敷地内を歩いたり、近道を散歩することも多い。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少数ではあるが、所持して使っておられる方も居る、こちらでお預かりしている場合はご家族の面会時に金銭出納帳を見せ伝えている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望時に掛けて頂いている。手紙も自由に出して頂ける様切手の購入や投函の支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビングに季節の花を飾ったり入居者さんの作品、又は家族様の作品を飾ったりしている。テレビの音量や温度、照明の管理も注意し、行っている。	利用者が協力し合って作成した大きなざり絵がリビングや階段の踊場などに飾られていた。廊下にはソファやイスが置かれ、一休みできるようになっている。2階のペランダには、綺麗な緑のカーテンが作られ、陽射しを和らげていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関先や廊下にソファや椅子を置いたり、畳のスペースで入居者さん同士が団楽できる空間を設けている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が今まで使っていた家具を置いたり、ご家族の写真を置いたりして安心して過ごせる様に工夫している。	使い慣れた家具を持ち込んでいる方、自宅の部屋と同じような状況にされている方、すっきりした部屋の方、家族の写真を飾っている方、様々で、その人らしい部屋になっていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室前には、写真入りの表札を掛けトイレ、洗面所にも大きな字で表示し、混乱が失敗を防いでいる。		

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容
1	1	地域の一員に入っているが、地域の一員として日常的な交流がもてない	ご近所の方々に気軽に来いただけるよう交流をもちたいまた災害時にも助け合う関係でいたい	散歩、外出時こちらから積極的に話を行い、交流を作っていきたい。また、自治体のイベント等があれば参加させていただきグループホームを知ってもらえるよう働きかける
2				
3				
4				
5				

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

### 3 サービス評価の実施と活用状況

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( ↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )